

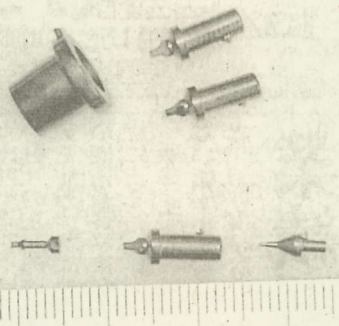
経済
KAGAWA

長峰製作所

低導電性極小ノズル開発

ICチップの不具合防ぐ

小型セラミックス部品などを製造する長峰製作所(まんのう町)は、集積回路(IC)を製作する機械専用の極小ノズルを開発、本格的な販売を始めた。開発したノズルは導電性を調整し、ICチップの不具合を招く静電気の発生などを抑制するのが特徴。すでに新ノズルを採用する大手メーカーもあり、同社は新たな主力製品として販売に力を入れる。



長峰製作所(まんのう町)が開発した低導電性の極小ノズル

IC製作機に取り付けられるノズルは極小で、穴径1ミミ以下のものもある。ICチップを空気で吸い付けて基板に取り付けるなどの役目を果たし、機械の主要部品となる。

従来のノズルは金属製のため、ノズルを通じて機械側からチップに電気が流れ、チップの不具合が生じる原因となっていた。この問題解消に開発された電気を通さないセラミックス製のノズルは、機械にたまった静電気がチップに一気に

流れることがあり、さらに新しいノズルの開発が求められていた。同社は、原料にセラミックスと酸化チタンなどの金属化合物を配合するなどして、ノズルの導電性を、チ

ップに影響を与えない程度の電流が流れるレベルに調整。新ノズルは、大きな電気が流れることはなく、絶縁体ノズルのように帯電しないため静電気も発生しないという。

電気の通しやすさは、ニーズに応じて設定が可能。同社は最小穴径0.005ミリの極小ノズルを製作する技術を持っており、ノズルのサイズにも細かく対応する。

ミニニュース

●かがわ健康関連製品開発フォーラム第1回セミナー 健康関連製品メーカーや大学教授らでつくる「かがわ健康関連製品開発フォーラム」は17日午後2時から、高松市田村町のかがわ総合リハビリテーションセンターでセミナーを開く。福祉や介護現場のニーズや、福祉用品の動向などを講師が紹介する。参加無料。定員約50人(先着)。申し込みは12日まで。問い合わせはかがわ産業支援財団内事務局(087(840)0338)。

●私募債発行 貨物海運業の大野海運(坂出市)は、四国銀行の保証付き無担保私募債を発行した。発行額は3千万円で、

①(株)KAIコンサルティング②高松市中野町③12年4月5日④100万円⑤経営コンサルタント業など

発行期間3年の満期一括償還。同行が全額を引き受ける。調達資金は設備資金に充てる。

新設法人情報

(高松支店調べ)

①(株)谷岡建築②高松市国分寺町③12年4月5日④500万円⑤塗装工事業など

①(株)エースト 橋本②善通寺市上吉田町③12年4月5日④500万円⑤不動産の所有、売買、賃貸、管理並びにその他

10年連続で減少

11年度たばこ
小売販売店数 値上げで不振続く

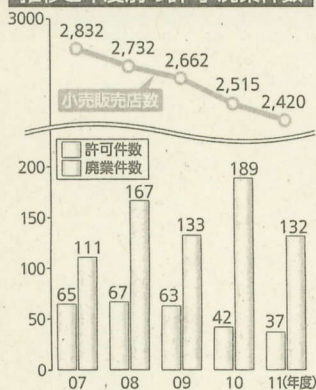
2011年度末の県内のたばこ小売販売店数は、前年度比3.8%減の2420店で、10年連続で減少したことが四国財務局のまとめで分かった。減少幅は過去10年間で前年度(5.5%)に次いで大きかった。10年10月の値上げによる販売不振が続いているとみられる。

まためによると、販売店数は前年度から95店減少した。届け出件数では、132件(前年度比30.2%減)が廃業した一方、新たに許可を受けたのは37件(同11.9%減)にとどまった。販売店数は、10年前と比べると18.9%減っている。廃業した販売店のうち約7割がたばこ専門店や酒屋

などの個人経営店。値上げによる不振が要因とみられる。許可を受けた37件を業種別にみると、コンビニエンスストア21件(前年度14件)、酒屋3件(同0件)、スーパー2件(同5件)などだった。

四国4県の販売店数は、前年度比3.6%減の1万5255店となり、10年連続で減少。廃業は5955件で、許可の1998件を大きく上回った。

県内のたばこ小売販売店数の推移と年度別の許可・廃業件数

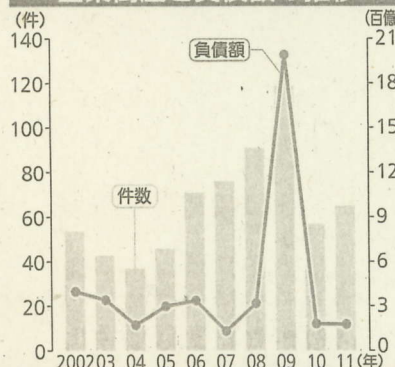


倒産件数

円滑化法で低水準
2011年は65件

FILE
10

企業倒産と負債額の推移



2011年の県内の企業倒産件数は65件。前年比14.0%増となったが、09年12月施行の中小企業金融円滑化法の効果で低水準が続く。ただ、同法は来年3月末で終了となり、円滑化法期限切れ後の企業倒産の増加が懸念される。

11年まで過去10年間の倒産件数(負債額1千万円以上)の推移をみると、02年(54件)から04年(37件)までは減少したが、景気減速で、05年以降、増加に転じ、09年は100件を突破して119件に達した。

その後は、同法の施行で企業倒産は大幅に減少。10年は57件(前年比52.1%減)、11年は65件と、上昇前の水準に戻りつつある。

負債総額は、倒産件数とほぼ同様の傾向。穴吹工務店の大型倒産があった09年には1990億3600万円と過去最大を記録したが、10年、11年は200億円を下回り、件数とともに落ち着きをみせている。

12年上半期は24件と前年同期に比べて31.4%減。負債総額も同15.1%減の94億7100万円となっているが、景気回復には足踏み感がみられ、同法の期限切れもあって今後の動向は

データでみる
香川の経済

約46万人で、少子化の減少する一方、60歳以上の高齢化が進ん

8人で、05年比6%減っている。44.2%だった。世代の30~39歳を占めて最多。~49歳9万2902

5年と比べて18192人だった。5~19歳は51109歳は6万4485人と、ともに

率層が16.9%、より、初めて高